





# SHOWA GAKUIN

## 沖縄校外教育

### 第2日目

まずは、ひめゆり平和祈念資料館を見学。クラスで作成した千羽鶴を奉納し、平和への祈りを捧げた後、多くの沖縄県民を犠牲にした戦争の展示資料や証言映像から、史実が語る戦争の悲惨さを学んだ。



▲ ビオスの丘 湖水鑑賞舟

その後クラス別の見学地へと向かった。グラスボートに乗船し、色鮮やかな魚やサンゴ礁の見学、ビオスの丘での湖水鑑賞舟、ガンガラーの谷での自然散策、美しい海が広がる古宇利島、シーサーやガラス芸作りなど、沖縄の自然や伝統文化を堪能し、クラスでたくさんの思い出をつくることができた。その後、宿泊先のリゾートパークホテル谷茶ベイに到着。目の前に広がる美しいビーチと水平線に、生徒たちは歓喜の声をあげていた。

### 第3日目

東村へ向かい、まずはシーカヤックに挑戦。インストラクターからレクチャーを受け、2人1組となり海へと漕ぎ始めた。最初は2人の息が合わずなかなか前へ進むことができずにいたが、徐々に上達をし、あちこちで明るい声が響き渡っていた。その後プロジェクトアドベンチャーを行った。仲間と協力することで自主性や協調性を養うもので、クラスの団結力を高め、新たな自分を発見することとなった。次に向かったのは海洋博公園、美ら海水族館である。世界最大の魚

ジンベイザメや世界初の繁殖に成功したナンヨウマンタが観測できる巨大水槽など、沖縄の神秘に満ちた雄大な世界に生徒たちは目を見張った。夕食後は楽しみにしていた1、2班合同のレクリエーション。賞品がかかったゲーム、有志によるダンスやパフォーマンスに会場は大いに盛り上がった。



▲ カヌー体験

### 第4日目

最終日は世界遺産の首里城へ。中国、日本や東南アジアと盛んな交易により栄えた琉球王国の歴史を学び、華やかな装飾と朱塗りの建造物に生徒たちは目を奪われていた。その後は国際通りに移動し、沖縄料理やショッピングなど約3時間の班別研修を楽しんだ。全員、無事に那覇空港を後にしたが、機内では疲れ切った表情をしながらも4日間の思い出を語る姿に、多くのことを学んだ満足感と友情とクラスの輪が深まったことが感じられた。



▲ 首里城

## 百人一首大会

### 中学校百人一首大会



▲ 見つけた！

大きく響いていた。優勝のクラスには賞状と賞品、個人賞の生徒には賞品が渡された。結果は、次のようになった。

第13回中学校百人一首大会が2月10日(金)6時間目に第3アリーナにて開催された。インフルエンザによる欠席者が増えていたことを考慮し、一週間延ばしにしての開催であったが、残念ながら、1、3年生だけの参加となった。いつもより広く感じるアリーナで、札を取る音が大きく響いていた。優勝のクラスには賞状と賞品、個人賞の生徒には賞品が渡された。結果は、次のようになった。

#### 《個人賞》 《最優秀賞》

1-1 大木摩耶 3-3 藍ことね

#### 《優秀賞》

1-1 熊谷奈々 1-1 杉山菜々子  
1-3 エズゴ梨々杏 1-3 青木健真  
3-1 秋元美空 3-1 荒岡美月  
3-1 金田優芽

#### 《優良賞》

1-2 若林あいり 1-1 吉川真梨花  
1-1 田中大智 3-2 須藤里織  
3-1 川岸沙綾 3-1 平野絵梨

#### 優勝

1年1組、3年1組

#### 第2位

1年3組、3年2組

#### 第3位

1年2組、3年3組

### 高等学校百人一首大会



▲ 上の句で取る高校生

高等学校百人一首大会が、2月16日(木)放課後に自習室にて開催された。高校1、2年生の各クラスの代表が参加し、予選、準決勝、決勝と白熱した試合が続いた。上位3名には賞状と賞品が渡された。結果は、次のようになった。

#### 優勝

1-C 磯島温大

#### 準優勝

1-K 町田佳志

#### 第3位

2-A 大塚情平



## 書き初め展



▲ 席書を終えて

今年の千葉県小中高校書き初め展の課題は、中1「真の幸福」中2「四季の変化」中3「日本の伝統」高校「春水満四澤」。市川地区審査の結果、高2：塚本あかりさん、高1：竹本あかねさん、中2：田島夏季さんの3名が代表として1月29日(日)千葉県総合スポーツセンター体育館で行われた、中央席書会に臨んだ。また、校内書き初め展では書星会賞と特選の作品を展示した。校長賞は、高2：齊藤

玲奈さん、中3：秋元美空さんの二人が受賞した。全体的に丁寧に書かれた作品が目立った。年に一度の冬季課題ではあるが、新年の気持ちを引き締めるためにも真剣に取り組みたい行事である。



▲ 真剣に取り組む生徒たち



▲ 開会式の様子

## 市川善行賞に高校生2名決まる

今年度の市川市善行賞が決まりました。

高校3年生の川上凌君(3A)と立川祥太君(3B)の両名が11月26日(土)に市川市の教育会館で表彰されました。

この賞は、昭和26年戦後の混沌とした時代に善に満ちた社会をつくらうと会が生まれ、隠れた善行を見つけ、これを世に紹介し讃えるとともにますます善行の輪が広がることを願ってつくられた賞です。

川上君と立川君は、高校入学後にボランティア活動に意欲的に取り組み八幡学園の訪問や重度障害者グループのお手伝いをしたり、またドルチアのチャリティーに参加し市内の施設をまわり入居者と交流を深めました。桜和祭ではボランティアの啓蒙に努めただけでなく、学外でも街頭に立ってあしなが募金活動をしたり、飲酒運転撲滅や未成年者飲酒防止や薬物乱用防止のキャンペーンの活動をす

るなど活躍しました。

市川市のボランティアフェスティバルに参加し、ボランティア団体のお手伝いをしながら地域の活性化に貢献してくれました。



▲ 表彰状を手に喜びの川上君(左)と立川君(右)

## 卒業生レポート

### 平成16年卒業・立石裕夏さん

平成10年4月、立石さんは、当時女子校だった本校の中学校に入学しました。彼女が高校3年になった平成15年、昭和学院は男女共学になりました。高校卒業後、千葉県立衛生短期大学(現在の千葉県立保健医療大学)に進学。大学卒業後から現在まで、日本赤十字医療センターに看護師として勤務されています。中学1年のキャリア教育「卒業生のお話を聞く会」に来ていただき、職業についてお話されたこともあります。

さて、昭和学院での中学・高校時代の経験は、今どのように生かされているのでしょうか。今回改めて質問に答えて頂きました。

#### ――仕事の内容を教えてください。

「入院病棟の看護師です。救急病棟と言い、何らかの病気や怪我で緊急入院してくる患者さんを24時間体制で受け入れるところを長く担当していたので、全ての診療科領域に関わっています。たとえば、消化器外科、救急、脳神経外科、呼吸器科、循環器科、整形科などがあげられます。」

#### ――仕事をしていて楽しいことは何ですか。

「経験を積んだら、方向性が選べることです。具体的には治験、PET診断、認定看護師、専門看護師、大学教員など、より専門性の高い分野、あるいは高度な資格を目指せることです。また、多くの人と出会えるチャンスがあります。患者さんはもちろん、看護師以外の医療従事者の



▲ 笑顔の立石さん

方など、お話をしていると新しい発見があり、楽しいです。」

#### ――大変なことは何ですか。

「夜勤です。生活のリズムが不規則になるからです。そしてもう一つ、常に新しい勉強が必要なことです。機器、治療法、薬、物品などは日進月歩で変わります。研修も多く、自分自身を向上させる努力が求められます。」

#### ――仕事をする上で大切なことは何ですか。

「相手に興味を持つこと。想像力を働かせ、社会背景にも視点をあてることです。たとえば患者さんが、退院後どこに帰るのか。治療に直接関係ありませんが、中には身寄りのない方もいらっしゃいますので、その場合はいろいろな機関と連絡を取り合わなければなりません。」

#### ――昭和学院で過ごしたことは、現在の仕事にどのように影響していますか。

「まずは健康管理です。出席奨励の学校でしたから。そして、多くの学校行事を通して、仲間との協調性が身につきました。また、私は6年間書道研究部でしたが、活動を通して集中力がアップしました。いいかげんな気持ちで作品を書くと、すぐに作品に表れてしまいます。1つの作品を納得いくまで書くには、長い集中力が必要でした。それが結果的によかったのかなと思います。」

#### ――後輩にメッセージをお願いします。

「『和して同せず』協調性を持ちながらも自分の夢に向かって一歩一歩、意思を強く邁進して下さい。その過程において昭和の先生方は必ず力になって下さいます。」



# SHOWA GAKUIN

## 奨学会だより

### 平成28年度 奨学会 厚生補導部

今年度の厚生補導部による登校時の校外活動が1月28日(土)に実施された。当日は朝7時40分から8時15分までの生徒が登校する時間に



▲ 厚生補導部による朝の校外活動

合わせ、学校周辺の六地点に分かれて活動した。登校する生徒と挨拶をしたり、歩行中のスマートホンやイヤホン使用の危険を注意喚起したりなどの活動が行われた。

### 平成28年度 奨学会部会 常任理事会開催

平成28年度第3学期の奨学会部会および常任理事会が2月18日(土)に本校にて開催された。部会は午後1時30分より、校舎棟2階の高校各教室を会場として実施され、その後常任理事会が午後2時30分より



▲ 常任理事会での学校長の挨拶

会議室で行われた。各部会では今年度の活動報告についての話し合いが行われ、続く常任理事会では会長の挨拶、学校長の挨拶に続いて山崎会長を議長として、各部からの活動報告とその反省から来年度の活動についても話し合われた。

## 文化 部

～全国のステージへ～

### バトン部

第44回 バトントワーリング  
全国大会 中学「金賞」・高校「銀賞」

私たちバトン部は、昨年12月10日、第44回バトントワーリング全国大会に、中高揃って出場しました。中学生は「未知なる世界」をテーマに、高校生は「宇宙戦艦ヤマト」、それぞれ納得のいく演技をすることが出来ました。高校生は銀賞を受賞し、中学生は金賞を受賞することが出来ました。

来年も全国大会への出場と、金賞受賞を目指して頑張ります。



▲ 高校生

「New Departure～YAMATO～」



▲ 中学生

「Unknown World ～未知なる世界～」

### ダンス部

第4回 日本ダンス大会  
全国高等学校ダンス部選手権 決勝大会

私たちダンス部は第4回日本ダンス大会、avex主催第4回全国高等学校ダンス部選手権決勝大会に出場しました。初めてジャズダンスに挑戦しました。今まで踊ってきたダンスとは体の使い方、表現の仕方が違いとても苦戦しました。最初はみんなの気持ちもバラバラで振りも揃いませんでした。どうしたらみんなの気持ちがまとまるかとても悩みました。日本ダンス大会では自分達のダンスを魅せることができずメンバー全員が悔し涙を流しました。そのリベンジをしようとダンス部選手権の予選に挑戦することを決めました。ミス

はありましたが自分たちのダンスを踊りきり本戦に進みリベンジをすることができました。これからも支えてくれる家族、先生方、コーチの方々に感謝の気持ちを忘れず全員でレベルアップをしたいと思います。



### 吹奏楽部

2016 日本管楽合奏コンテスト  
全国大会 「最優秀賞」

私たち吹奏楽部は、4年連続で日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場することが出来ました。昨年度は東関東大会、管楽合奏コンテストと悔しい結果で終わってしまいましたが、今年度は昨年度の悔しい思いを糧に練習に励んできました。東関東大会では出演順1番という苦しい状況でしたが、管楽合奏コンテストでは、「最優秀賞」を受賞することができ、昨年度の悔しさを晴らすことが出来ました。



しかし、今回の結果に驕ること無く、次への目標に向かって日々「進化」して行きたいと思います。また、応援してくださる多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、練習に励んで行きたいと思います。

### 弦楽部

第5回 日本学校合奏コンクール  
全国大会 「銀賞」

11月13日、高校2年生9名が日本学校合奏コンクール全国大会アンサンブルの部に出場した。昨年度の同大会を振り返ると、初めて出場できたステージだったのに大会会場の場所や寒さに対して、また緊張からくる突発的なアクシデントにも対応できず、準備不足が裏目に出た内容だった。しかし今年度は、会場が千葉県だったので、慣れた場所での安心感があった。9人で納得できる演奏内容になるように話し合いや練習を重ねて、当日の演奏に至った。

曲の入りは上手くいったが、次第に硬くなり表現がやや単調になってしまったのが反省点として残る。



昨年より良い「銀賞」を頂けたが、まだまだ目指す「良い演奏」には課題があるので、来年度に向けて部員一同、更に精進したい。



## 高校バスケットボール部

## ウィンターカップ 第3位

12月23日～29日に東京体育館にて第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会が行われ、多くの方々に応援に駆けつけた。今年も、野球部による声援が大きく響き渡り、会場の雰囲気や和を色に染め上げた。

準々決勝では札幌山の手に91対55と大差で勝利し、準決勝は強敵岐阜女子との戦いとなった。試合の結果は、第2・第3ピリオドまで接戦であったが、最終ピリオドを岐阜女子が制し、45対61と惜敗し



▲準決勝 対 岐阜女子

た。3位決定戦の大阪薫英女学院戦でも、準決勝を思い出させる接戦となったが、前日の悔しさをばねに、最終ピリオドで大阪薫英女学院戦を振り切り67対59と快勝した。また、この大会を通して、優秀選手として赤穂ひまわり選手(3I)が表彰された。選手、並びに監督・関係者の皆さんに心から拍手を送りたい。



▲3位決定戦 対 大阪薫英女学院

片野(部長3E)、笠置(3E)、赤穂(3I)の3選手に話を聞いた。「ウィンターカップではお忙しい中、たくさんの応援ありがとうございました。インターハイでは、自分達の甘さが出てしまい結果が残せず悔しい思いをしたので、今大会では自分達の力をすべて出し切り、昭和らしいプレーで最後まで戦い抜こうと臨んだ大会でした。1・2・3回戦では、なかなか自分達のペースを掴めず内容の悪い試合が続きました。そんな中迎えた準々決勝、相手はインターハイで1点差で負けた札幌山の手高校でした。序盤から自分達のペースで試合を運ぶことができ、終わってみると36点差という大差をつけリベンジを果たすことができました。続く準決勝では昨年の王者の岐阜女子高校との対戦でした。前半は1点差ビハインドで折り返すことができましたが、後半は自分達の足が止まってしまい負けてしまいました。

全国制覇という夢は途絶えたものの、気持ちを切り替えて臨んだ3位決定戦。相手は大阪薫英女子学院でした。今年はシード権がなく、唯一の6試合目を戦うチームとなり体力的にも厳しい試合でしたが、

メダルを持って帰りたいという気持ちが強く、最後まで戦い続けることができ、3位という結果を残すことができました。たくさんの応援があったからこそ、ここまで来られたと思います。ありがとうございました。」また、後輩達に向けて次のように語った。「今、自分達がバスケットボールをできることやバスケットボールができる環境を当たり前と思わず、何事にも感謝して毎日の練習に全力で取り組んでほしいと思います。昨年度先輩方から引き継いだ“全国制覇”の目標。自分達もできず、来年こそ達成して欲しいですが、まずは自分達がやるべきこと一つひとつ納得して、悔いのないように頑張ってください。」

### 【Voice】

高校バスケットボール部 監督 鈴木親光



本年度のウィンターカップは東京体育館で開催され、校長先生をはじめ沢山の先生方、保護者や生徒の皆さんのご声援を頂き、誠に有り難うございました。心よりお礼申し上げます。

さて、12月23日から試合が始まり、1回戦福岡東高校、2回戦郡山商業高校、3回戦和歌山信愛高校と苦しみながら勝ち進みベスト8を決めました。準々決勝ではインターハイで敗れた札幌山の手と対戦しました。試合開始から昭和学院らしいバスケットボールを展開し、夏の悔しさを晴らすことができました。準決勝は昨年優勝の岐阜女子高校との対戦となりました。序盤からお互いの力と力がぶつかり合い前半を終了して1点ビハインドで終了し、2クォーターの途中まで選手達が思い切りの良いプレイで頑張りをみせましたが徐々に岐阜女子高校に主導権を握られ点差を広げられてしまい準決勝で敗れてしまいました。

3位決定戦では大阪薫英高校と対戦しました。選手達は昨日の悔しさを晴らす様にコートの中で精一杯のプレイを見せてくれました。本年度、最後の試合で昭和学院がチームとして勝ち取った大きな銅メダルであったと思います。

今年の悔しさを忘れることなく、下級生達と一緒に全国制覇の目標を達成できる様に前進して行きたいと思います。

## 春の全国選抜大会・都道府県対抗全国大会など

### 高校新体操部

「第31回全国高等学校新体操選抜大会」(3月20日～22日・愛媛県総合運動体育館)塩屋恵美子監督は「堂園あかり(2H)、石井(1D)、それぞれが自分の納得の演技ができるよう、平常心で演じてほしいと思います」と語った。

### 高校ハンドボール男女

「第40回全国高等学校ハンドボール選抜大会」(3月23日～29日・兵庫県グリーンアリーナ神戸)に、今年も男女共に出場する。女子の里見香代子監督は「メダルを獲得したい」と闘志を見せた。成嶋美優さん(2F)、小沼千咲さん(2E)の動きに注目したい。男子の池畑大監督は「上位進出できるように頑張ります」と力強く語った。青沼健太くん(2J)、中沢優大くん(2D)、藤田和馬くん(2F)の活躍に期待しよう。

### 中学バスケットボール部女子

「JX-ENEOS 第30回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2017」(3月28日～30日・市川市塩浜体育館、東京都東京体育館他)本校から、大城かおりさん(2の2)・砂川ゆめのさん(2の3)・古川七葉子さん(2の4)・花鳥百香さん(1の2)が出場する。

### 中学ソフトテニス部

「第28回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会」(3月26日～28日三重県伊勢市宮庭球場)に1年次より出場している選手が男子2名女子2名います。「全国の舞台を楽しみ、昭和学院らしく、元氣よく粘り強くプレイします」と高原良江監督は力強く語った。滝瀬敬太くん(2の3)、藤本奈々美さん(2の4)ら男子3名女子8名が出場する。





## 高 3 進 路

### 主な合格大学一覧 (2月17日現在)

#### 四年制大学

##### <私立大学>

早稲田大	3	埼玉工業大	1
慶応大	1	首都医療大	1
上智大	1	淑徳大	3
東京理科大	3	城西国際大	6
学習院大	2	三育学院大	1
明治大	12	湘南工科大	2
青山学院大	5	女子美術大	1
中央大	5	杉野服飾大	1
法政大	8	聖徳大	6
津田塾大	2	仙台大	1
東京女子大	2	西武文理大	1
日本女子大	1	大正大	5
学習院女子大	1	高千穂大	1
立命館大	1	拓殖大	4
國學院大	1	多摩美大	1
明治学院大	1	千葉科学大	4
成城大	1	千葉経済大	1
獨協大	4	千葉工業大	26
武蔵大	1	千葉商科大	6
日本大	17	中央学院大	4
東洋大	3	中京大	1
駒澤大	5	桐蔭横浜大	3
大東文化大	1	東京家政学院大	2
東海大	1	東京経済大	3
帝京大	4	東京工芸大	3
国土館大	5	東京女子体育大	3
武蔵野大	3	東京情報大	7
神田外語大	8	東京成徳大	1
文教大	3	東京聖栄大	1
東京農業大	5	東京福祉大	1
東邦大	7	東京都市大	1
北里大	2	東洋学園大	4
順天堂大	1	東京富士大	1
星薬大	1	東京未来大	1
大妻女子大	2	二松学舎大	2
実践女子大	1	日本保健医療大	1
昭和女子大	2	日本工大	3
白百合女子大	3	日本獣医生命科学大	2
清泉女子大	2	日本女子体育大	3
東京家政大	1	帝京科学大	3
跡見学園女子大	5	帝京平成大	15
江戸川大	3	日本体育大	4
植草学園大	1	日本薬科大	1
上野学園大	1	日本社会事業大	1
川村学園女子大	2	文京学院大	3
開智国際大	2	明海大	12
関東学院大	3	明治薬大	2
共栄大	2	日白大	10
京都産業大	1	ヤマザキ学園大	1
敬愛大	2	山梨学院大	1
国際医療福祉大	2	立正大	2
国際武道大	5	流通経済大	9
駒澤女子大	1	了徳寺大	2
		麗澤大	3
		和光大	1
		和洋女子大	5

#### 短期大学

昭和学院短	13
青山学院女短	1
千葉経済大短	2
戸板女短	1
城西短	1
大妻女大短	1

#### 専門学校

亀田医療技術専	1
日本医大看護専	1
帝京高等看護学	1
千葉医療附看護	1

#### 就 職

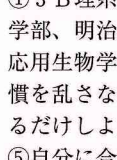
株式会社ナガセケンコー, 美光商会, デンソー

### 合格者の横顔

合格者に①～⑤の質問をしました。 ①クラス・文理の別・氏名 ②現在までの合格大学 ③努力したこと ④平均学習時間(平日・休日) ⑤後輩へのアドバイス



①3 A 理系 吉田茉央 ②東京女子大学現代教養学部、明治大学情報コミュニケーション学部、学習院大学文学部③基本的な知識を頭に入れてから、過去問を中心に問題演習に取り組みました。④平日4～5時間・休日8時間～10時間 ⑤模試の判定に一喜一憂することなく、第一志望に向けて努力して頑張ってください。



①3 B 理系 山根 萌 ②早稲田大学スポーツ学部、明治大学農学部・理工学部、東京農業大学応用生物学部、青山学院大学理工学部 ③生活習慣を乱さないようにして、他の時間は勉強をできるだけしようとした。④平日5時間・休日8時間 ⑤自分に合った方法でやると思います。色々な人と話すと応援してくれるので、やる気が出るかもしれません。



①3 C 文系 桑名彩佳 ②青山学院大学文学部、日本女子大学文学部、昭和女子大学人間文化学部、白百合女子大学人間総合学部 ③受験期の前半は苦手科目の克服に努め、後半は過去問に取り組みました。④平日4時間・休日10時間 ⑤古文単語や現代文単語などの朝自習テストに真剣に取り組んでおらず、受験期になって大変な思いをしました。日々の小テストを大切にしてください。前向きな気持ちで最後まで諦めずに頑張ってください。

## 新 生 徒 会

平成29年度の生徒会役員です。昨年の生徒会選挙で選ばれた人たちが校長先生から任命され、昭和学院の繁栄を望み、新たな一歩を踏み出しました。

会 長	神 谷 拓 帆 (2I)
副 会 長	關 健 太 朗 (2F)
	橋 本 岳 琉 (1C)
書 記	齋 藤 玲 奈 (2F)
	益 子 奈 央 (1J)
会 計	兪 島 凜 (2F)
	堀 村 愛 (1F)
会計監査	渡 邊 光 (2E)
	原 一 真 (1F)

1月13日任命式があり、新生徒会が活動を開始しました。今年度の抱負を、生徒会長に聞きました。「今年の生徒会は、これまでの先

輩方に負けない生徒会を作ることです。生徒と生徒会が連携を取って、これまでできなかったことをやっていきたいと思っています。そのためには生徒会と生徒一人ひとりが学校行事に積極的に取り組むことによって『新生昭和』としての一体感を出していく必要があります。生徒会は皆さんの代表であると共に、皆さんの味方です。生徒会をもっと頼りにしてください。自分たちのためにも、後輩たちのためにも今までよりも楽しく、居心地の良い学校を作っていくように、私たち生徒会と一緒に頑張りたいです。」

